

よくある ご相談と その対応

【事例⑩】 イジメられる、からかわれる。

NG対応

1、「嫌なら言い返しなさい。」と 叱咤激励する。

- ・コミュニケーションが苦手な場合が多いので、本人に相手と直接 対決させて解決させようとするのは難しいです。
- ・からかわれている、イジメられているという自覚がない場合や、構ってもらって逆に嬉しいと喜んでしまっている場合もあるので、注意が必要です。

2、「動作や話し方を変えてみよう。」などと変化を促す。

- ・「そんな動きをするから、からかわれるんだ。」などと言われても、急に変えることができません。その動作や話し方は、障害特性からくる場合もあります。イジメられている側に変化を求めるのは、本末転倒なことです。

GOOD対応

1、状況を確認する。

- ・イジメられたことを言葉で上手に伝えるのは、なかなか難しいです。そこで、周りの子どもから その時の状況を聞いたり、「絵」や「図」を用意して本人が伝えやすいようにしたりします。

2、その場での振る舞い方を教える。

- ・あらかじめ、イジメられた時の振る舞い方を学習させておきます。「逃げる」「助けを求める」「無視する」などが挙げられます。言葉で意思表示するのが苦手な場合は、「やめてください」「いやです」などと書いたカードを持たせておき、それを見せたり助けを求めたりするように教えておきます。

3、良いところ、優れたところが認められるようにする。

- ・一つでも秀でたものをもっていると、周りの子ども達が その子を認め、からかいやイジメの対象に なりにくくなります。その子の得意なものを発見し認めてあげることで、本人も自信がもって周囲も その子を認めることができます。また、その子だけでなく、クラスメイト全員の得意なことを認めてあげることで、みんなの自己肯定感が育ち良い雰囲気クラスになっていきます。

4、他の教師や保護者と連携する。

- ・イジメの問題は担任一人で抱え込まず、管理職、コーディネーター、養護教諭、他の教師と連携することが大切です。話し合いをもって共通認識をもち、いつでも相談ができるようにしておきます。保護者には日頃から学校の様子を伝えておいたり、家庭の状況をよく聞いたりして、保護者の不安を少しでも取り除くようにしておきます。